

新宮山彦ぐるーぷ第1926回
春季連休中に南奥駆道(前鬼く行仙宿)の踏査

◇実施日：平成29年4月29日(土・祝)～4月30日(日)
◇参加者：上村洋司・和美。 2名。

4月29日(土、祝) 快晴

先週(深仙宿)に引き続き同じゲートに降り立つと、先週には及ばぬもののみならずの快晴。

先週あれだけ蹴飛ばしておいたはずなのに、新たに wheel loader の鉄の爪、落石を掠めて集めた引掻き痕がアスファルトに幾筋も続く。

祠ごとに手を合わせたら、階段の浮き石とこの字の杉枝と一目詰まりを抜きながら一気に太古の辻に向かう。処処に浮き石と枯枝があり、ひたすら蹴飛ばし前進。

天狗山から嫁越峠間で奥駆道西側が大きく崩落。地蔵岳く滝川辻間に大きな倒木3本あり。地蔵岳付近で出くわした風倒木は手に負えそうにもないものの、くぐる、よけるでやり過ぎれば深刻な障害でもなさそうなので2く3本をそのまま見送り。途中、ポツポツと単独行の男性にすれ違う。

持経宿は、ガラスを外したかと思紛うほどに磨き上げられた窓、耳の揃った毛布、知己に富んだ蘊蓄。内心驚いた。

給水に訪れた男性が「お陰で安心して歩けます」と言葉を掛けられ気持ちよく志納される。

夕刻になるほどに宿泊者が集まって来る。深夜にまで到着があり、小屋番の喝が飛ぶ。最終的には10名を越えたようである。

行動タイム

前鬼ゲート 06:00 → 小仲坊 06:20 → 太古の辻 08:24 (休憩) → 仙人舞台石 08:35 → 石楠花岳分岐 08:51 → 天狗山 09:28 → 嫁越峠 10:00 → 天狗の稽古場 10:21 → 地蔵岳 10:29 → 滝川辻 11:14 → ヒクタワ

11:20 → 小ピーク (昼食) 11:50 → 涅槃岳 12:17 → 証誠無漏岳 12:43 → 阿須迦利岳 13:17 → 13:35 持経宿 (宿泊)

4月30日(日・祝) 快晴。

二日目は降りるのみ。通行時に絡んで来そうな飛び枝を選択的に切り落とす。先の視界が悪いがために紋取り打って転ぶのは願い下げ。

S字カーブで先の見通せないような遮蔽部分の枝を打つ。またしても俱利伽羅岳の先で手強い風倒木に出くわす。これも明らかに通行不能ではないので見なかったことにする。”オトナの秘密基地”ともいべき、行仙小屋に着いてホッとす。薪割を手伝い、迎えの車が行仙登山口に来る為、昼前に下山した。

行動タイム

持経宿 05:30 → 千年松 05:35 → 両又分岐 06:07 → 平治宿 06:20 → 転法輪岳 06:48 → 俱利伽羅岳 07:23 → 怒田の宿跡 08:30 → 行仙分岐 08:40 → 白谷トンネル分岐 08:45 → 09:00 行仙の宿 → 作業 → 行仙宿 11:05 → 11:35 登山口。

(記 上村洋司)